

1泊2日コース 串本町〜太地町〜那智勝浦町〜新宮市

海の日本遺産と山の世界遺産をめぐる熊野満喫プラン



左が九龍島、右が鯛島。鯛島には目のような空洞も

九龍島
●くろしま
●たいじま
東牟婁郡串本町西向
JR古座駅から徒歩約10分の国道42号から見学
[MAP] P22B3

橋杭岩
●はしくいいわ
東牟婁郡串本町くじの川
バス停橋杭岩からすぐ [MAP] P22A3

陽光きらめく串本の海岸線をドライブ



巨岩・奇岩の列が約850mにもわたって海上に続いている



日本ジオパークのひとつ。ジオパークとは「大地の公園」を意味し、貴重な地形や地質などが残る地域を、日本ジオパーク委員会が認定する。和歌山県南部の9市町村（新宮市、白浜町・上富田町・すさみ町・那智勝浦町・太地町・古座川町・串本町、北山村）などを範囲とする南紀熊野ジオパークでは、3つの異なる地質体が見られ、橋杭岩をはじめとする107カ所がジオサイト（みどころ）に選定されている。

ここからは、日本遺産「鯨」とともに生きる」の舞台に加えて、その他の熊野のみどころを効率よく巡るモデルプランをご紹介します。まずは、世界遺産の熊野三山や熊野古道も訪ねる1泊2日のプランから。名湯に浸かり、名物を堪能し、熊野の魅力味わい尽くそう。

和歌山県南部随一の景勝地と熊野水軍ゆかりの島

1日目は本州最南端の町・串本から、熊野灘に沿って北上。「鯨の町」として知られる太地を巡り、南紀勝浦温泉で宿泊する。

最初に訪ねる橋杭岩は、和歌山県を代表する景勝地。青い海に大小40余の岩柱が並び立ち、潮の満ち引きや太陽の位置によって、1日のうちでもさまざまな美しさを見せる。橋の杭のような姿は、波の浸食によって岩の硬い部分だけが残ったもの。国の名勝天然記念物であるとともに、南紀熊野ジオパークのジオサイトにも選定されている。

橋杭岩から国道42号を新宮方面に進んで行くと、右手の熊野灘に九龍島・鯛島が見えてくる。古座川河口の沖、約1kmに浮かぶ無人島で、かつては熊野水軍の拠点だったと伝わっている。また、大きい方の九龍島は、熊野灘の捕鯨文化のひとつ「河内祭の御舟行事」(P26)

にも関係する聖地として崇められている。鯛島はその名の通り、鯛のような形が目を引く。

古式捕鯨の史跡が残る熊野灘一望の岬へ

九龍島・鯛島を後に、太地町へ。古式捕鯨の発祥地とされ、現在も沿岸で小型鯨類の捕鯨が行われている町だ。町内には、熊野ひいては日本の食文化として受け継がれてきた鯨料理を出す店も多く、まずは「いさなの宿 白鯨」でランチしよう。

さらに、太地町立くじらの博物館(↓P8)を見学し、古式捕鯨の指令所「山見台」であった燈明崎を目指す。熊野灘を一望できる断崖上のこの地で、昔の人は鯨を見張り、発見すると狼煙を上げるなどして、沖の船団に合図を送った。捕鯨の最重要施設であり、総指揮者は捕鯨に関わる族のうち、最も権威のある家筋の者しか就けなかったという。

現在、燈明崎には昔の灯台である燈明台が復元されており、燈明崎「燈明台跡」「山見台跡」、古式捕鯨「支度部屋跡」「狼煙場跡」が日本遺産の構成文化財となっている。絶景の岬で古式捕鯨を偲んだ後は、南紀勝浦温泉へ。名湯で1日の疲れを癒そう。

復元された燈明台が立つ岬の先端から熊野灘を一望できる



燈明崎 ●とうみょうざき
燈明台跡・山見台跡
古式捕鯨支度部屋跡・狼煙場跡
東牟婁郡太地町太地
バス停平見公園から徒歩約15分 [MAP] P22C4

くじらの町・太地を訪ねる



太地町立くじらの博物館
→P8



鯨の町のおみやげにぴったりのくじらの民芸品(民芸工房 抱重庵→P22)

太地で鯨料理を食べるならいさなの宿 白鯨
●いさなのやど はくげい
太地湾に面した温泉宿。ランチ利用できるレストランでは、太地ならではの鯨料理のメニューが充実。鯨スタミナ丼1400円から鯨フルコース8000円まで、予算に応じてさまざまに楽しめる。
☎0735-59-2323 東牟婁郡太地町太地2973-4 ②バス停白鯨前からすぐ ③11時~14時(13時30分LO) ④不定休 [MAP] P22C4
竜田揚げ、刺身、ハリハリ鍋などを味わえる鯨御膳2500円



- 1日目
- JR串本駅
 - 車で約5分
 - 橋杭岩
 - 車で約5分
 - 九龍島・鯛島
 - 車で約30分
 - いさなの宿 白鯨
 - 車で約1分
 - 太地町立くじらの博物館
 - 車で約8分
 - 燈明崎
 - 車で約20分
 - 南紀勝浦温泉 泊

- 2日目
- 南紀勝浦温泉
 - 車で約15分の大門坂駐車場に駐車し、大門坂入口まで徒歩で約3分
 - 熊野古道 大門坂
 - 徒歩で約30分
 - 熊野那智大社
 - 徒歩すぐ
 - 那智山青岸渡寺
 - 徒歩すぐ
 - 魚霊供養碑
 - 徒歩で約15分
 - 那智の滝
 - 那智の滝前バス停から熊野御坊南海バスで約5分の大門坂駐車場前で下車、車で約15分
 - bodai
 - 車で約30分
 - 熊野速玉大社
 - 車で約7分
 - 神倉神社
 - 車で約5分
 - JR新宮駅

宿泊は南紀勝浦温泉へ→P20

巨大な洞窟内で温泉を楽しむホテル浦島の忘帰洞

数多の巡礼者がこの道をたどった。世界的にも珍しい「信仰の道」の世界遺産



石畳の古道を歩き、聖地・那智山へ

世界遺産

那智山 青岸渡寺

●なちさんせいがんじ
☎0735-55-0001
④東牟婁郡那智勝浦町那智山8
⑤バス停那智山から徒歩約10分
⑥7時～16時30分
⑦境内自由
【MAP】P22A1



古色を帯びた本堂。室内の奥に本尊の如意輪観音が祀られている



朱塗りの拝殿(写真中央)。写真右から枝を伸ばす大樟は、平重盛のお手植えと伝わる

世界遺産 熊野那智大社

●くまのなちたいしや
☎0735-55-0321 ④東牟婁郡那智勝浦町那智山1
⑤バス停那智山から徒歩約10分 ⑥7時30分～16時30分 ⑦境内自由 【MAP】P22A1

世界遺産 ジオパーク

熊野古道 大門坂

●くまのこどう だいもんざか
④東牟婁郡那智勝浦町那智山
⑤バス停大門坂から入口まですぐ
【MAP】P22A1



日本遺産 青岸渡寺の魚霊供養碑

●せいがんじのぎょらいくようひ
④那智山青岸渡寺の境内
【MAP】P22A1



鮨中とろカツ丼。酸味のあるタレでさっぱりと味わえる

勝浦で生まぐろを食べるなら bodai

●ぼだい
生まぐろをはじめ新鮮魚介が人気の創作料理店。名物の「鮨中とろカツ」は勝浦産の生まぐろを高温で一気に揚げており、外はサクッと、中はとろとろのレア。これを丼にした鮨中とろカツ丼は1800円。
☎0735-52-0039 ④東牟婁郡那智勝浦町築地5-1-3 ⑤JR紀伊勝浦駅からすぐ ⑥11時～14時、17時30分～21時30分 ⑦火曜
【MAP】P22C3



世界遺産 ジオパーク 那智の滝

●なちのたき
原生林に包まれた、高さ133mの大断崖を豪快に流れ落ちる
☎0735-55-0321(熊野那智大社) ④東牟婁郡那智勝浦町那智山 ⑤バス停那智の滝前から徒歩約3分 ⑥境内自由(御滝拝所は7時～16時30分) ⑦御滝拝所舞台参入 大人300円、小・中学生200円【MAP】P22A1



和歌山県・奈良県・三重県にまたがる3つの霊場(吉野・大峰、熊野三山、高野山)と参詣道(熊野参詣道、大峯奥駈道、高野参詣道)が世界遺産として2004年に登録されており、熊野灘沿岸地域では熊野三山やそれらを結ぶ参詣道である「熊野古道」の一部などが世界遺産として登録されている。

熊野川河口の世界遺産の町・新宮へ



世界遺産 ●くまのはやたまたいしや
☎0735-22-2533 ④新宮市新宮1
⑤JR新宮駅から徒歩約20分
⑥5時～17時(季節により変動)
⑦境内自由
【MAP】P22B1

山麓から538段の急峻な石段を上ったところにあるゴトビキ岩



世界遺産 ジオパーク 神倉神社

●かみくらじんじや
☎0735-22-2533(熊野速玉大社)
④新宮市神倉1-13-8
⑤JR新宮駅から参道入口まで徒歩約20分
⑥境内自由
【MAP】P22B1

町なかの名所・名物をたずねる

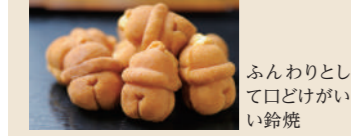
新宮は熊野速玉大社の門前町、新宮城の城下町として栄えてきた。市内には新宮城跡などの史跡が残り、徐福伝説を伝える徐福公園もある。徐福は約2200年前の中国の仙術者。不老不死の霊薬を探して熊野に渡来し、捕鯨の技術なども伝えたという。新宮は佐藤春夫や中上健次ら多数の文化人の故郷としても知られている。



極彩色の中国風楼門が立つ徐福公園 【MAP】P22C1

老舗の銘菓をおみやげに 香梅堂

●こうばいどう
明治元年(1868年)創業の和菓子店。看板商品の鈴焼1袋20個入り400円～は、ひと口サイズのかわいいカステラ菓子。和三盆糖の上品な甘さで世を問わず人気を集める。
☎0735-22-3132 ④新宮市大橋通3-3-4 ⑤JR新宮駅から徒歩約10分
⑥9時～21時(日曜は9時～17時30分)
⑦火曜日+不定休 【MAP】P22C1



ふんわりとして口どけがいい鈴焼

サンマ寿司を食べるなら 徐福寿司 駅前店

●じよふくずし えきまえてん
熊野の郷土料理、サンマ寿司の名店。こちらでは、腹のうま味を損なわないよう手間のかかる背開きにこだわり、尻尾付きの「さんま姿寿司」として提供。ひと口食べるとユズ酢が爽やかに香る。
☎0735-23-1313 ④新宮市徐福2-1-9
⑤JR新宮駅からすぐ ⑥10時～17時
⑦木曜 【MAP】P22C1



さんま姿寿司1050円。持ち帰り可

午後は新宮市へ向かい、熊野三山のひとつ熊野速玉大社を参拝する。境内には、緑の木々を背に鮮やかな朱塗りの社殿が立ち並んでいる。さらに大社の元宮である神倉神社へもお参りを。大社の南、神倉山中腹にある巨岩「ゴトビキ岩」をご神体とする古社だ。

熊野の神々ははじめこの岩に降臨し、景行天皇の時代に新しい宮(熊野速玉大社)を建て、神々をお迎えしたという。そのため、神倉神社を元宮、熊野速玉大社を新宮とよぶようになり、「新宮」は地名ともなった。

参拝後は、新宮の町なかを散策。あるいは、那智・新宮と並ぶ熊野三山のひとつ、熊野本宮大社(田辺市本宮町)へ足を延ばすのもいい。新宮から車で1時間ほどだ。

山上の巨岩は 神々が降臨した聖地

那智の滝が現れる。那智山の信仰は、この大滝を神と崇める自然崇拜に始まったといわれる。滝の前には熊野那智大社の別宮・飛瀧神社があり、御滝拝所からは、水しぶきがかかるほど間近で聖なる大滝を仰げる。

那智の滝前バス停から路線バス(便数が少ないので事前に時間確認を)で大門坂駐車場へ戻り、車で勝浦の「bodai」へ。昼食に生まぐろの料理を味わおう。

かつての熊野詣を追体験し、世界遺産の社寺を巡る

2日目は、世界遺産に登録されている熊野信仰の聖地・熊野三山と熊野古道の旅を楽しもう。

午前中は那智山へ。勝浦から車やバスで直行できるが、山麓の大門坂駐車場に車を止め、熊野古道の大門坂から歩いて巡るのがおすすめ。熊野古道は昔の人々が三山を巡礼するのにとどった道で、大門坂は当時の面影を美しく残しており、杉の巨木が林立する山中に苔むした石段が600mほど続いている。

坂を登り詰め、さらに山口・光峯堂(↓P22)などのみやげ店が並ぶ参道の石段を上ると、熊野那智大社に着く。すぐ隣には、那智山青岸渡寺。熊野三山のひとつとして、両者は一体的に発展してきたもので、どちらも世界遺産に登録されている。

まず熊野那智大社にお参り。標高約400m、那智湾を望む清々しい境内に、壮麗な社殿が立ち並ぶ。6棟からなる本殿は国重要文化財。那智山青岸渡寺は、西国三十三所観音霊場の第一番札所として知られる。豪壮な本堂は、豊臣秀吉が再建したものと伝わり、こちらも国重要文化財。本堂に向かって左には、日本遺産の魚霊供養碑が立つ。続いて、急な石段を下って行けば、

1日コース 那智勝浦町〜太地町

熊野灘の潮風を感じる町歩きプラン

「生まぐろの町」那智勝浦では、魚市場で競りを。鯨の町「太地」では、風情ある漁師町の町並みをたどり、古式捕鯨の史跡を訪ねる。潮風に吹かれて、のんびり歩こう。

活気溢れる生まぐろの競りを見学

名湯が湧く那智勝浦町は、え縄漁法による生まぐろの水揚げ量が日本有数の町でもある。それを実感できるのが、生まぐろ市場競り（入札方式）ガイドツアー（要予約）。早朝に競りが行われる勝浦地方卸売市場を、（社）那智勝浦観光機構の公認ガイドが詳しく案内するもので、ずらりと並んだまぐろは圧巻だ。

紀伊勝浦駅前のみやげ物店小倉家では、郷土玩具「熊野古式くじら舟」に注目。江戸時代の捕鯨舟をかたどっており、鳳凰や菊などの模様鮮やかな色彩で描かれ、店主がひとつずつ彩色している。

続いては、紀の松島めぐりを楽しむつた地へ向かう。紀の松島とは勝浦港周辺に点在する鶴島・兜島・ラクダ岩など大小の島々の総称で、遊覧船が勝浦観光光機橋から出航。基本的なAコースは、太地くじら浜公園に寄港するので、今回はそこで下船。一帯にはくじらの博物館（↓P8）などの観光施設が集まっている。



生まぐろ市場競り（入札方式）ガイドツアー

●なまぐろいちばせり（にゅうさつほうしき）かいどつあー
☎0735-52-6153（那智勝浦観光機構）④東牟婁郡那智勝浦町築地7-8-2 ⑤JR紀伊勝浦駅から徒歩約5分 ⑥7時から約60分、催行日3日前までに要予約 ⑦毎週火曜日と市場がお休みの日（那智勝浦観光機構HPに掲載の市場カレンダーをご参照ください）⑧大人1名2500円、小学生以下1名1500円（その他、特別朝食やお寿司体験などの有料オプションがあります）【MAP】P22C3

マグロがずらり。「展望スペースSUNAGOOD（つなぐ）」からは申し込み不要で無料見学可

小倉家 ●おぐらや

☎0735-52-0650 ④東牟婁郡那智勝浦町築地4-2-4 ⑤JR紀伊勝浦駅から徒歩約7分30分～18時30分 ⑥不定休 【MAP】P22C3



熊野古式くじら舟1320円～。

紀の松島めぐり

●きのまつしまめぐり
☎0735-52-8188 ④東牟婁郡那智勝浦町勝浦 ⑤勝浦観光光機橋へはJR紀伊勝浦駅から徒歩約8分 ⑥勝浦観光光機橋発8時30分～15時20分（変更の場合あり）⑦平日（荒天時などは休航）⑧Aコース中学生以上1800円、4歳以上900円（太地で下船する場合は、同じく1400円、700円）【MAP】P22C3

Aコースは所要55分（太地くじら浜公園までは40分）



ラクダ岩（写真手前）などの奇岩もある海を巡る

鯨のしっぽのモニュメントに迎えられる



太地くじら浜公園

●たいじくじらはまこうえん ④東牟婁郡太地町太地 ⑤バス停くじら館からすぐ【MAP】P22C4



平成24年に陸揚げされた捕鯨船、第一京丸

漁師町を散策し 絶景の岬を巡る

鯨骨鳥居 ●くじらぼねとい

④東牟婁郡太地町太地 ⑤バス停漁協前からすぐ【MAP】P22C4



井原西鶴著『日本永代蔵』に登場する話に着想を得て、1985年に建てられた（1996年、2019年に再建され、現在は3代目）

日本遺産 ジオパーク

岩門

●せきもん ④東牟婁郡太地町太地 ⑤バス停石門からすぐ【MAP】P22C4



門の形をした洞穴。現在も通り抜けられる



レトロな建物は国の登録有形文化財



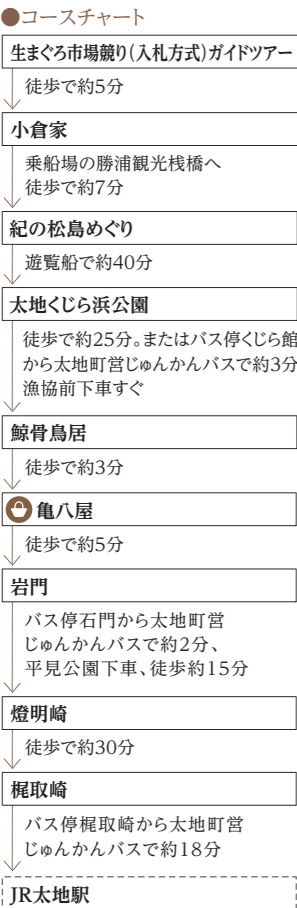
バス停にも鯨が描かれている

ペンキ塗りの民家が連なる町を散策しよう

日本遺産 ジオパーク

燈明崎

●とうみょうざき →P11



灯台が立つ梶取崎。芝生が広がる園地には鯨の形をした供養碑もある（↓P3写真参照）



緑のトンネルが日差しを優しく遮る遊歩道

日本遺産 ジオパーク

梶取崎

●かんどりざき 狼煙場跡 ●のろしばあと ④東牟婁郡太地町太地 ⑤バス停梶取崎からすぐ【MAP】P22C4

名物「てつめん餅」をおやつ・おみやげに 亀八屋 ●かめはちや

江戸時代末期、熊野詣の京都の僧に製法を伝授されたとも伝わる「てつめん餅」を今も手作り。軟らかい米粉の皮の中には、甘さあっさり自家製あんがたっぷり。早ければ午前中に売り切れるのでお早めに。 白とヨモギの2種あり、各1個150円



☎0735-59-2258 ④東牟婁郡太地町太地3383 ⑤バス停漁協前から徒歩3分 ⑥9時頃～売切れ次第 ⑦月・水・木・金・日曜 【MAP】P22C4

レトロかわいい ペンキ塗り民家の町並み

公園から南へ歩くと、太地漁港に至る。このあたりが町の中心。漁協向かいの恵比須神社には漁の神が祀られ、鯨の骨で造った鳥居が立つ。周辺には住宅が密集した漁師町特有の町並みが残る。他と違うのは、格子を付けた日本家屋でも、淡い色のペンキで塗った建物が多いこと。かつて太地は北米移民や捕鯨船の乗員を多数輩出。その人々がペンキ塗りの文化を海外から持ち帰ったともいわれる。

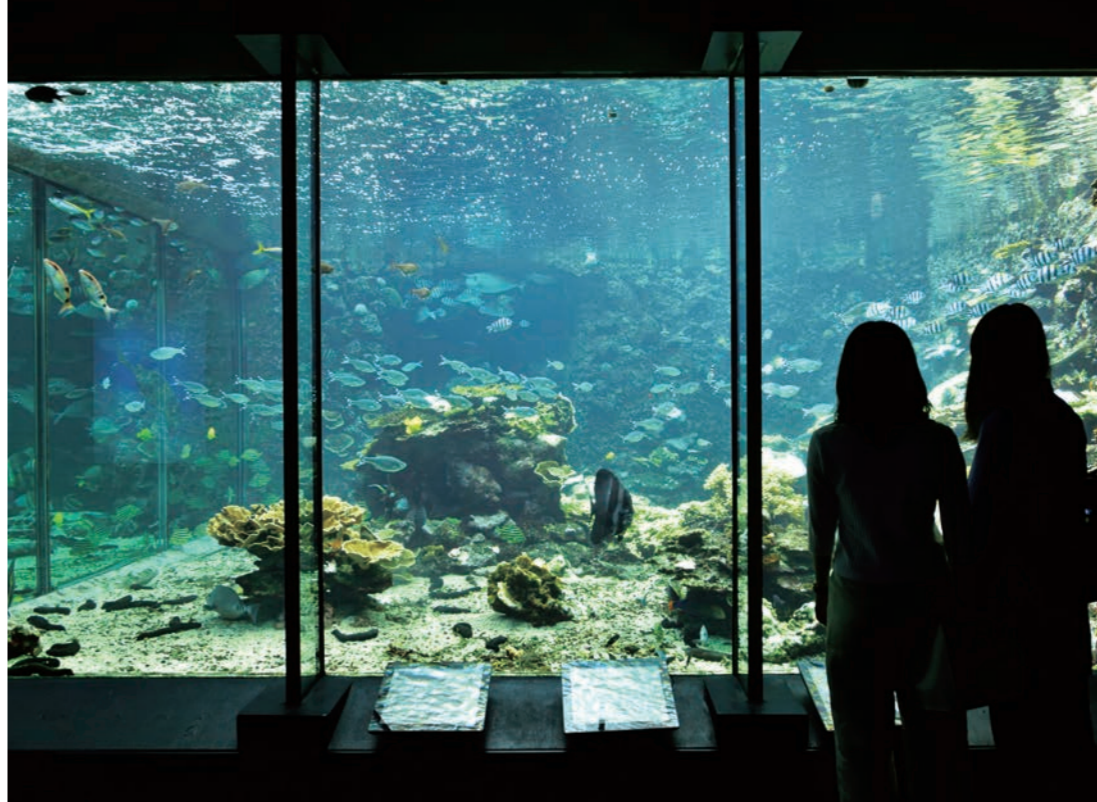
亀八屋にも立ち寄ったら、洞穴の岩門を見学。門の内側に、古式捕鯨を創始した和田家の広大な屋敷があったと伝わる。さらに絶景の燈明崎（↓P11）を訪ね、続いて梶取崎まで遊歩道をたどろう。高台に続く道は散策にぴったり。ウパメガシなどが緑のトンネルを作り、随所から海が見える。梶取崎も燈明崎と同じく「山見台」だったところ。岬の突端の日本遺産「梶取崎狼煙場跡」まで行けば、熊野灘の絶景を望める。

1日コース 串本町

本州最南端で絶景ドライブプラン

紀伊半島の先端に位置する串本は気候温暖で、南国の青い海と空が広がる絶景スポットの宝庫。黒潮が近くを流れる海の中にも絶景は広がっており、海中観光船などから楽しむことができる。

楽しみ満載の海中公園とトルコとの友好のシンボル



水族館の「串本の海大水槽」。串本の海中景観がそのままに再現されている

串本海中公園

●くしもとかいちゅうこうえん
☎0735-62-1122 ④東牟婁郡串本町有田1157 ⑤JR串本駅から無料送迎バスで約12分 ⑥9時～16時30分(チケット販売は16時終了) ⑦無休(観光船は荒天時休航) ⑧水族館・展望塔・乗船セット券は大人2800円、小・中学生1600円 幼児600円(施設別のチケットあり) [MAP]P22A4

海中展望船と海中観光船から海中観察を楽しめる

トルコ記念館

●とるこきねんかん
☎0735-65-0628 ④東牟婁郡串本町樫野1025-26 ⑤バス停樫野灯台口から徒歩約3分 ⑥9時～17時 ⑦無休 ⑧大人500円、小・中・高校生250円 [MAP]P22B4



乗員の遺品などを展示。事故では580余名が犠牲となり、島民は生存者救出に尽力した

素敵なパンカフェでひとやすみ

nagi・喫茶yuyano

●なぎ・きつさゆの
国産小麦や自家製発酵種で丁寧に作られるパンを求め、遠方からもファンが訪れる。本格ハード系から菓子パン、地元の野菜や果物を使ったものなど幅広くあり、ピザも評判。カフェのドリンクも充実している。
☎0735-65-0065 ④東牟婁郡串本町大島1158 ⑤JR串本駅から車で約10分 ⑥9時30分～18時(喫茶は10時～16時30分LO) ⑦月・火曜(祝日の場合は営業) [MAP]P22A4



野菜ののったフォカッチャ440円など。ドリンクはジンジャーソーダ540円

海金剛

●うみこんごう
④東牟婁郡串本町樫野
⑤くしもと観光周遊バス「まぐトル号」バス停海金剛からすぐ [MAP] P22B4



紺碧の海と奇岩が織り成す絶景は「21世紀に残したい日本の自然100選」に選ばれている

山見跡に立つ樫野崎灯台は、日本最古の洋式石造灯台。建物外側の通路から熊野灘を見渡せる

日米修交記念館

●にちべいしゅうこうきねんかん
☎0735-65-0099 ④東牟婁郡串本町樫野1033 ⑤くしもと観光周遊バス「まぐトル号」バス停海金剛からすぐ ⑥9時～17時 ⑦無休 ⑧大人250円、小・中・高校生120円 [MAP] P22B4



日本とアメリカの初めての接触について詳しく知ることができる

潮岬の鯨山見

●しおのみさきのくじらやまみ
④東牟婁郡串本町潮岬 ⑤バス停潮岬灯台前から徒歩約7分 [MAP] P22A4

潮岬の西側に位置。春先に四国沖から紀伊半島を東に進む鯨を見張っていたという

まさに本州最南端 水平線を望む潮岬

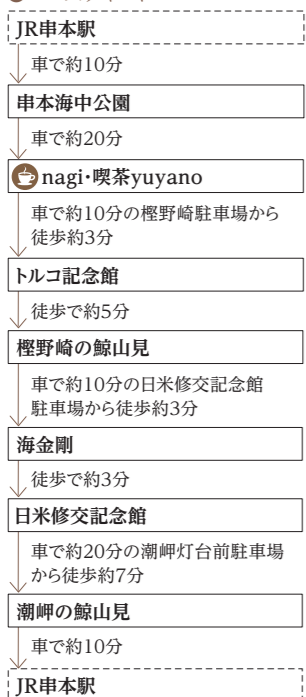


日本遺産 ジオパーク

樫野崎の鯨山見

●かしのざきのくじらやまみ
④東牟婁郡串本町樫野
⑤バス停樫野灯台口から徒歩約8分 [MAP]P22B4

コースチャート



日米交流の秘話にふれ、潮岬から絶景を眺める

樫野崎を後にしたら、大島のもう一つの絶景ポイント・海金剛へ。日米修交記念館前の駐車場に車を止め、ウバメガシが茂る遊歩道を進んだ先の展望台から眺められる。ピラミッドのような形の巨岩が海にそそり立つ、迫力満点の景観に圧倒される。

日米修交記念館は、寛政3年(1791年)にアメリカ商船が大島に寄港していたことを紹介する資料館。ペリーの黒船来航より62年も前に起こったこの事件は、公文書に記録された日米間の初めての接触とされる。

知られざる日米交流史を学んだ後は、来た道を引き返し、潮岬を目指す。串本の町の南、太平洋に突き出た、まさに本州最南端の地だ。白亜の潮岬灯台が立ち、そのすぐ先の潮御崎神社の入口左手の小道を進むと、日本遺産の「潮岬の鯨山見」に出る。樫野崎の山見と同じく、ここも古座鯨方が鯨を見張っていた場所だけに、眺めは絶景。水平線を見渡せ、気象条件に恵まれれば、四国が見えることもあるという。

ドライブの最後は串本駅へ。駅前の「菓子潮ざき」(P22)でおみやげを買おう。